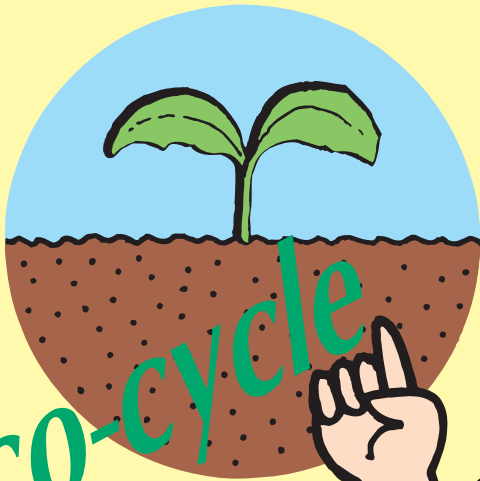


混合有機質肥料330号

有機物分解促進材

バイオライザー[®]



良質な堆肥づくり、
土づくりの決め手に



未利用有機物の農地還元、
有効利用に



供給

JAグループ
農業協同組合

全農[®]

製造

片倉コープアグリ株式会社

<http://www.katakuraco-op.com>

バイオライザー[®]

バイオライザー[®]とは

バイオライザーに添加されている6種の微生物(3種の細菌、1種の酵母、2種の糸状菌※)は、低温、中温、高温でセルロース、リグニン分解活性を有し、不溶性のリンを植物に利用できる状態にする能力を持っています。

- ①バイオライザーに添加された微生物の働きにより、良質な堆肥の速やかな製造が期待されます。
- ②堆肥のみならず、剪定くず、収穫物残さ(イナワラ・野菜くず・残根)などの有機物の分解に、バイオライザーは能力を発揮します。
- ③バイオライザーに添加されている微生物は、土壌・有機物から分離された菌ですので、環境に対して悪影響を与えることはありません。

※ *Bacillus* sp. LB-5、*Paenibacillus* sp. BS-1SMCPHII、*Priestia* sp. KC-6
Talaromyces sp. CF-1、*Penicillium* sp.LF-3、*Zalaria* sp. LB-31

バイオライザー[®]の性状

仮比重	荷姿	形態
0.4g/mL	10kg	粉状

バイオライザー[®]の使用法

- ①堆肥づくり：イナワラ、バーク、オガクズ、キノコ培養残さ、刈り芝などの堆肥化促進材として1～2%添加します。あわせて尿素を1～2%添加すると、より効果的です。
- ②ぼかし肥の種菌として：有機質肥料を発酵してぼかし肥をつくる時、堆積時に0.5～1%混合すると良質なぼかし肥ができます。
- ③サッチの分解(ゴルフ場)：グリーンやフェアウェイに100～200g/m²の量で散布し、十分に灌水を行って下さい。病原菌のエサとなるサッチを分解し、芝の生育を良好にします。
- ④収穫物残さの分解：畑地などの収穫物残さの分解には、20kg/10a程度の量を全面に散布し、残さと共に土中にすき込んで下さい。